

日高胆振知的障がい児・者家族会 通信

家族会ニュース



会長 津脇清一郎

日高・胆振知的障がい児・者家族会
会長 津脇清一郎

新春の挨拶

新年明けまして

おめでとございます。

皆さまにおかれましては、つつがなく新年を迎えられましたことをお慶び申し上げます。

また、日頃から、当家族会の活動に対し、ご理解、ご協力を賜り衷心より御礼申し上げます。

さて、近年は、障がいのある方を取り巻く環境は、人権擁護の視点から、障害者虐待防止法の施行や障害者権利条約の批准など、法整備が推進されてきております。しかし、全国的には、障害のある方への虐待や権利侵害が依然と報道されております。今後につきましても、各種関係団体と連携を図りながら、安全で

安心出来る普通の暮らしが出来るよう家族会としても、役割を發揮していきたいと考えているところであります。これらのことより各家族会はもとより、しっかりと広域的な地方会組織に加入して、その上で北海道知的障がい者家族会連合会を、盤石な組織体として、私たち家族が、障害者を取り巻く情勢を正しく理解をして、時に判断することや、関係機関や中央省庁等へ意見等訴えることが出来るよう組織強化に努めていかなければならないと考えております。

本年一月十四日、平成二十七年年度の予算案を閣議決定しています。一般会計の総額は九十六兆三千四百二十億円で過去最大でした。介護保険関係では、介護報酬の改定時期でマイナス二・二七%となったようです。高齢者率が上昇する中、果たし

て介護関係事業者は、経営的に厳しい状況の中で、しっかりとした支援体制を整いながら、高齢者福祉サービスが提供できるのか、福祉の領域は違いますが社会保障全般の財政逼迫は深刻な状況であると認識をしております。

障害福祉も報酬改定の時期ですが、各事業所が安定的経営のもと、福祉サービスが提供され、私たちの子供が安心して安全な環境、そして幸せに暮らせるよう予算配分されることを切に願っております。

今後も関係者の皆様と、顔が見える関係のもと歩調を合わせ活動を充実して参りたいと考えます。当家族会に対し、皆様方のこれまで以上のご理解とご支援をお願いいたします。

平成26年度 第3号(通巻13号)
発行
日高・胆振知的障がい児・者家族会事務局
苫小牧市字植苗一二一番地八
緑星の里やまぶき
印刷発行 2015年1月

福祉まめ知識

社会保障制度について

私たちの生活の中で時に、病気やけが、老齢や障害、失業などにより、自分の努力だけでは解決できず、自立した生活を維持できなくなる場合も往々にして生じます。このように個人の責任や努力だけでは対応できないリスクに対して、相互に連帯して支え合い、それでもなお困窮する場合には必要な生活保障を行うのが、社会保障制度の役割です。社会保障制度は、セーフティネットの機能を持っています。私たちの生活を生涯に渡って支え、基本的な安心を与えています。社会保障制度は、具体的には「社会保険」、「社会福祉」、「公的扶助」、「保健医療・公衆衛生」を総称したものです。「社会保険」とは、人々が病気やけが、出産、死亡、老齢、障害、失業など生活の困難をもたらすいろいろな事故に遭遇した場合に一定の給付を行い、人々の生活の安定を図ることを目的とした、強制加入の保険制度です。

日高・胆振知的障がい児・者家族会入会のご案内
随時会員募集中

最近の動向

第十一回全国大会

平成二十七年十月二十日～二十一日ロースホテル横浜にて開催されました。知的障害のある人にとって、障害の軽重や多様性さらにはライフステージに応じた最適な生活の場について話し合われる予定です。

障害者総合支援法の対象疾病拡大

平成二十七年一月以降、これまでの百三十疾病から百五十一疾病に拡大されました。

編集後記

冬期間は、停電や遭難といった暴風雪による災害が多く発生しています。気象情報に注意され、暴風雪が予想されるときは、できる限り家のなかで過ごすなど外出を控えましょう。また、屋根からの落雪にも十分ご注意下さい。本年もよろしく申し上げます。
(小早川)

